

プーチンがグローバリスト EU を嘲笑：

「ロシアだけが独立国」

プーチンが、Amazon プライムドキュメンタリー、World Order 2018 に出演

【訳者注】プーチンの言葉はいつでも聴くに値する。的確に、簡潔に、取るべき方向を我々に与えてくれる。世界は、独立国か、独立国に見せかけた従属国か、どちらかだと言い、後者に未来はないと言っている。もし我々が、ロシアと条約を結ぶことになれば、その裏にどんな野望があるのだろうかなどと、思い煩う必要はない。我々が従僕国根性を振り切らなければ、向こうから突き放されるだけである。独立した者同士の対等の関係協力のみが、世界を向上させると彼は一貫して言っている。

プーチンに対する作られた悪い印象は、もっぱらウクライナ問題で、彼がクリミアを強奪したという宣伝を、プーチンに軽蔑される従僕国どもが、信ずるところからきている。このサイトで我々は、何度となくその関連記事を載せている。2, 3 の例：——

<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/170616.pdf>

<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/150929.pdf>

<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/150724.pdf>

<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/150420.pdf>

Riva Mendoza, www.neonnettle.com

November 20, 2018



ロシアのリーダー、ウラジミール・プーチンは、ある爆弾的ドキュメンタリーで、EUのグローバリストたちを弾劾し、「ロシアが唯一の独立国」で、このブロックに依存している国々は弱体化し、「将来の見えない」ものになったと宣言した。

TVホスト Vladimir Solovjev の創った Amazon プライムドキュメンタリー、World Order 2018 に出演したプーチンは、世界のリーダーがほとんど絶対に応じない話題に応えた。
<https://off-guardian.org/2018/03/15/no-russia-no-world-full-movie-world-order-2018/>

プーチンは、ソロヴィヨフ氏との爆発的なインタビューで、東ウクライナの不安定化と、クリミアの“不法な”併合に反対して、EUが制限的な対抗措置を取ったことについて述べながら、ブリュッセルが、ロシアを転覆させようとしていることを嘲笑した。



関連記事：「プーチン、“ロスチャイルドの支配する”米ドルからの全面的独立を通告」
<https://neonnettle.com/news/4202-putin-announces-total-independence-from-rothschild-controlled-us-dollar>

ウクライナ危機をめぐって、モスクワに抗議して始めた制裁を、このブロックはやめるだろうかと言われると、プーチンは応えた：「我々はそんな危機をつくらなかった」。

ウクライナに関連して彼は続けた：「彼らに何ができると思う？」

「彼らはヨーロッパ連合に極端に依存している。自分では何もできないでいる。」

ソロヴィエフ氏はそこで、プーチンにズバリと質問した：

「では、誰が独立したプレーヤーですか？」

時代思潮：「ペドファイルの殺し屋一味が、テキサスの国境警官に捕まる」

<https://neonettle.com/news/5684-pedophiles-killers-gang-members-arrested-by-texas-border-agents>

プーチンは平然と答えた：「ロシアです。」

「ほかにもいくつかの国があるが、私は彼らには責任はもてません。」

「どれくらい独立しているのか、彼らに訊いてみてください。」

「こういうことです——彼らに何か深刻な内政問題が起こったようなとき、彼らはこうしたプロセスに頼るようになる。すると、そのような国の将来は見えないのです。」

「それは、彼らがどれくらい信頼できるかにかかわる。」

「では、彼らは独立国ですか、従属国か？ そして彼らは誰に依存しているのですか？」

ウクライナとロシアは、モスクワが、2014年、東ウクライナ・ドンバスで、ロシア寄りの分離主義者の反乱を助けて以来、戦争体勢にあり、武装した戦闘がいまだに続いている。

EUはそれ以来、ロシアに対して、経済制裁といくつかの禁止措置を取っている。

その最も新しいのは、資産凍結と旅行制限で、1550人の個人と44の団体に対して、それを適用している。

去年は、イタリアのユーロに懐疑的な政府が、ロシアに友好的な態度を示した。

イタリアの首相ジュゼッペ・コンテは言った：——「イタリアは、すべてのヨーロッパのパートナーが、同じ方向を取るように説得することが、より実りある行動だと考えている。」

「したがって、我々は今、決定を下しはしない。しかるべき時間をかけるつもりだ。」

——以上